

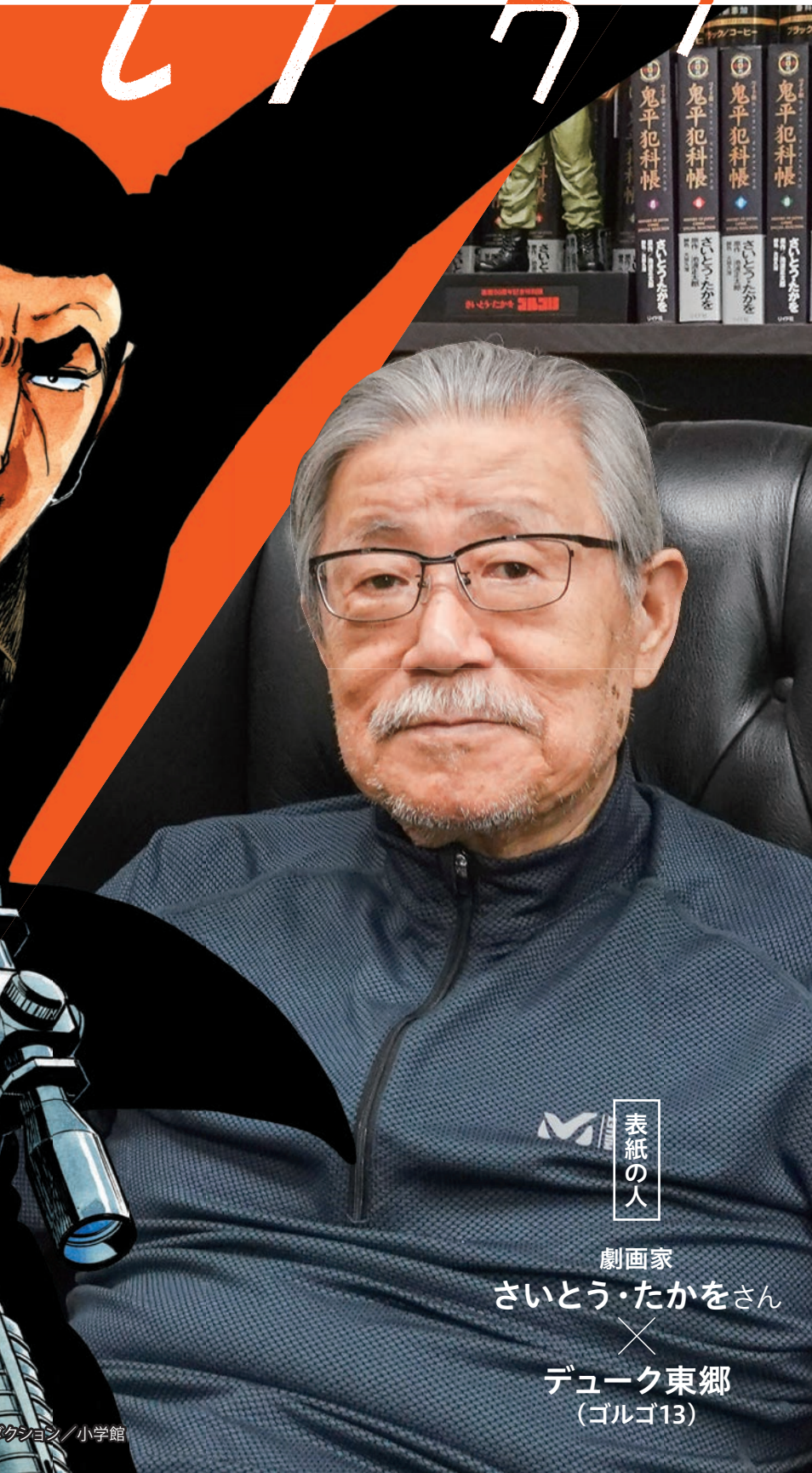
岩手を
魅せる
広報誌

て わて ら が ら

特集①

新型コロナウイルス感染症対策

「いのちと健康を守る」



表紙の人

劇画家

さいとう・たかをさん

デューク東郷
(ゴルゴ13)

2020.09
AUTUMN
IWATE GRAPH

支え合う関係・ベストパートナー

高い危機管理意識と 穏やかな心変わらずに

さいとう・たかをさん × デューク東郷
(劇画家) (ゴルゴ13)

「お互いに支え合いながら幸福を追求していくことができる地域社会」の実現を目指して邁進する人々の姿を紹介します。



超一流スナイパーの活躍を描いた作品『ゴルゴ13(サーティーン)』で知られる劇画家のさいとう・たかをさん。奥様が岩手県出身というご縁から、花巻市に別宅を構えています。

東京の喧騒の中で暮らしているさいとうさんにとって、岩手で過ごす時間は、良い気分転換。静かで空気が良く、自然に囲まれて穏やかに生活できる岩手に、とても愛着があるとのこと。今回、いわてグラフのために、登場していただいたパートナーは、1969年の連載開始以来ずっと描き続けている主人公の「ゴルゴ13」とデューク東郷。「映画でいうなら監督と役者の関係。ゴルゴ13は監督である私の指示通りに演じてくれる主演男優」



高い危機管理意識をもち、どんなミッションも全力で完遂するゴルゴ13と「男にとって仕事が全てである」と話すさいとうさんは、プロフェSSIONナル同士、最強のパートナーと言えます。

また、分業で作品を制作しているさいとう・プロダクションにとって、スタッフ

もかけがえのないパートナー。都内の制作現場では、三密を避ける工夫をして、スタッフのいのちと健康を守る取り組みをしています。

仕事で多忙な毎日を送るさいとうさんですが、別宅がある岩手には特別な思いを寄せています。「岩手の人は、純朴で粘り強く、心穏やかな方が多いような気がします。感染症に対しては、東日本大震災津波の経験から、各々の危機管理意識が高いのではない

でしょうか」と、東京から岩手へ、心強いメッセージを届けてくれました。



さいとう・たかをさん

1936年和歌山県生まれ。劇画家。1960年さいとう・プロダクション設立。映画的手法を取り入れた独自の作風によって「劇画」のジャンルを確立。『ゴルゴ13』のほかに、『鬼平犯科帳』『サバイバル』など。1997年、花巻市に別宅を構えてからは、年に数回来県。「豊富で美味しい食べ物や、気疲れせず心温まる人情……。岩手県は歳を重ねるごとに素晴らしく感じられます」と、岩手への思い入れは強い。2008年～希望郷いわて文化大使。

取材協力
さいとう・プロダクション